

地域の源

私たちの町内会

Vol.13

あけの平三丁目町内会

会長 江澤 尚雄 さん

会員数 504世帯



餅つきなどを行う、子どもからお年寄りまで一緒になって楽しめるお祭りが開催されます。このお祭りはこの地区独自のもので、住民皆が一

緒になって取り組むことで、新たな交友関係が育める大変有意義なイベントとして親しまれています。また、8月の夏祭りは一、二、三丁目合同で開催され、おみこしや盆踊りを楽しんでいます。

大震災から4年が経ち、地域間のつながりはますます希薄化してきています。ですので、あけの平三丁目では、お祭りや敬老会、防災訓練などを通して、住民間の交流機会を増やすことで、ご近所力の向上に力を入れています。お互いの顔が見える人間関係をつくり、楽しさを共有することで地域の交流が深まり信頼関係が育まれます。

あけの平三丁目町内会はこれからもこれらの行事を継続し、住民の方々が住んでよかったと思えるまちづくりに取り組んでいきます。

あけの平三丁目町内会は、もともと1つの町内会であったあけの平が、平成元年4月1日に一、二、三丁目に分かれた際に発足されました。あけの平三丁目は、アテネ五輪の100m背泳ぎで銅メダルを獲得し北京五輪にも出場した森田智己選手とソチ五輪のスケルトン競技に出場した高橋弘篤選手の出身地であり、五輪の際は地元出身の両選手にエールを送りました。

今年で27年目を迎えるこの地区では10年ごとに記念行事を開催し、その際にこの10年の歩みを記念誌にまとめ、町内会員の方々にお配りしています。この記念誌を通して、これまでの足跡を辿りつつ、あの日あの時のことを感じることができます。

毎年5月には「ふれあい祭り」という、屋台やスポーツ、